

夏季昇温抑制技術の導入と 地域への普及

湖東農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

近年、夏季の気温が高く、施設内温度が40℃を超えるため、イチゴ等の施設野菜の苗数不足や収量低下が問題となっています。今後も夏季の高温が続くと見込まれることから、施設野菜等の生産者を対象に、昇温抑制技術の導入および地域への普及に向けた活動を行いました。

【普及活動の内容】

令和6年7月31日に、豊郷町I農場の施設イチゴハウスで昇温抑制技術に関する現地研修会を開催しました。参加者にはハウス内での簡易ミストによる昇温抑制効果を体感いただくとともに、技術導入に伴うメリットや自主施工に伴う経費の削減、導入後の経営試算等をI農場から説明いただきました。

また、健全なイチゴ苗を生産し、収量が確保できるよう簡易ミストによる昇温抑制技術導入を推進するとともに巡回指導を行いました。

さらに、湖東地域管内で昇温抑制技術の普及を図るため、当センターの情報誌「湖東普及だより」等で本技術の特徴を紹介しました。

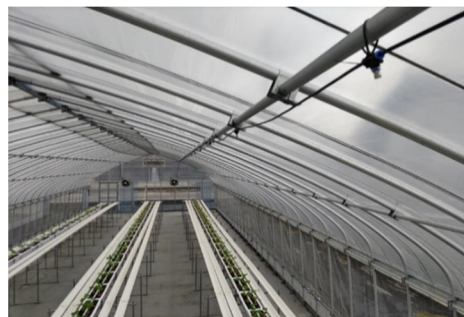


写真1 簡易ミストが設置されたハウス



写真2 現地研修会で意見交換する参加者

【普及活動の成果】

研修会に参加された生産者14名は昇温抑制技術の効果やメリットを感じられ、本年度、I農場を含む4名が新たに簡易ミストを導入されました。

I農場では必要なイチゴの苗数が確保され、9月中旬に定植をされましたが、定植前後の高温により出蕾が遅れる等、新たな問題が発生しました。

気候変動を受け、夏季だけでなく秋季も高温が見込まれることから、昇温抑制技術の導入により生産安定や品質向上が図られ、経営改善されるよう支援していきます。

◎対象者の意見

簡易ミスト導入時には一定の経費がかかるが中長期的に経営を考えた場合、ローコストとなるため導入すべきだと感じた。(生産者)